

Genie®

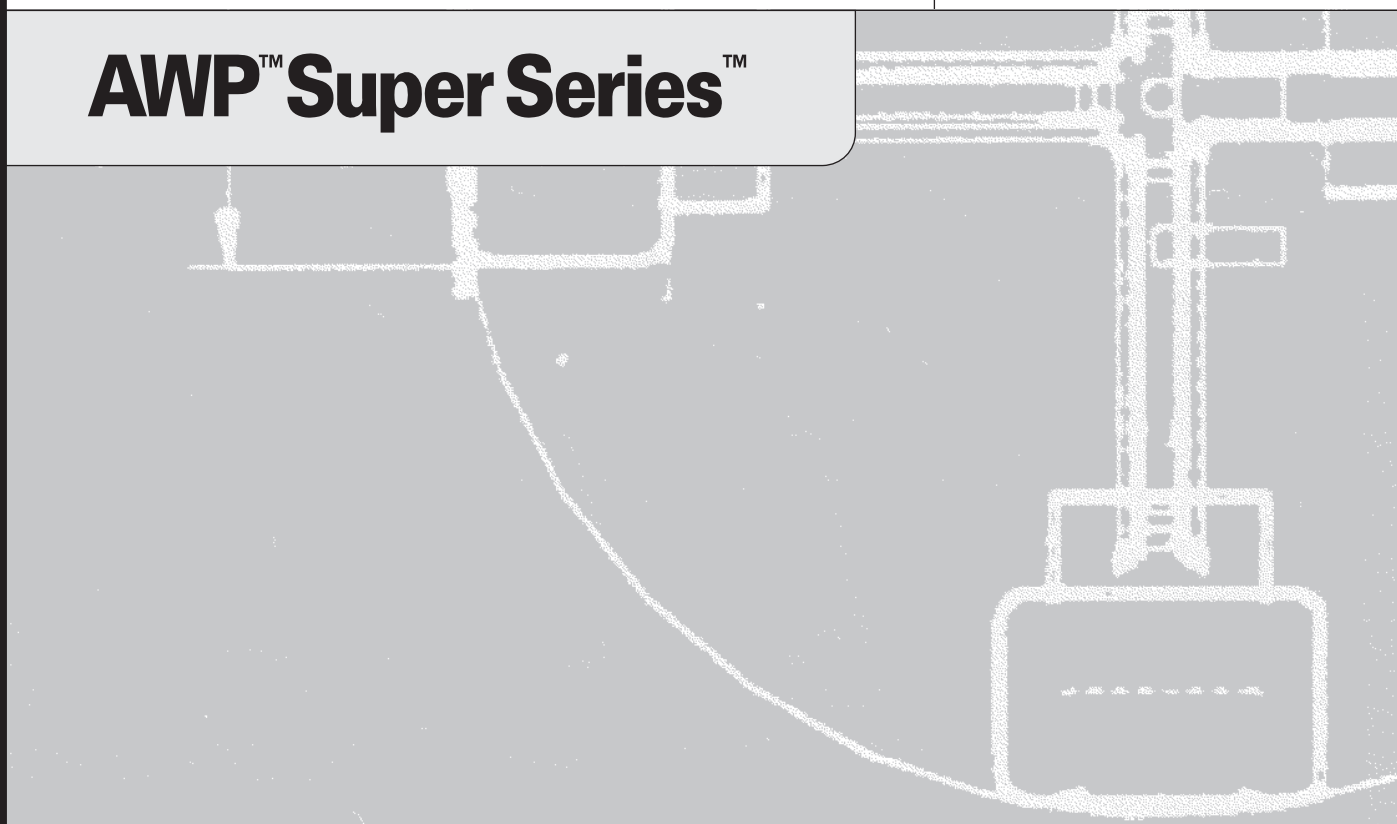


操作説明書

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Fourth Edition
Third Printing
Part No. 145356JA

AWP™ Super Series™



重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie までご連絡ください。

目次

| | ページ |
|-----------------|-----|
| 安全規則 | 1 |
| 操作パネル..... | 8 |
| 説明 | 9 |
| 操作前の点検..... | 10 |
| 保守 | 12 |
| 機能テスト..... | 15 |
| 作業場の点検..... | 18 |
| 操作手順..... | 19 |
| バッテリー充電の手順..... | 21 |
| 輸送手順..... | 22 |
| 後方傾斜の操作手順..... | 25 |
| ステッカー..... | 28 |
| 仕様 | 32 |

お問い合わせ先：

インターネット：<http://www.genielift.com>
電子メール：awp.techpub@terex.com

Copyright © 1996 Terex Corporation

第 4 版： 第 3 刷、2014 年 6 月

「Genie」および「AWP」は米国およびその他の国における Terex South Dakota の登録商標です。「Super Series」は Terex South Dakota の商標です。

CE EC 公式指示 2006/42/EC。
EC 適合宣言を参照してください。

♻️ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.



安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

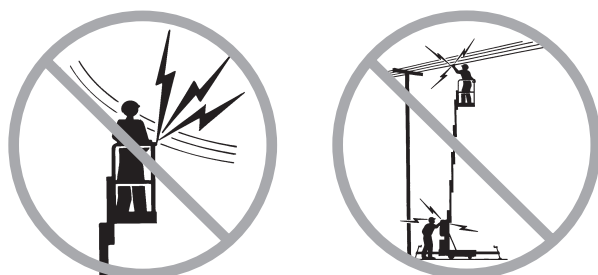
- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解してください。
 - 2 必ず操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に必ず機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- ☑ 製品取扱説明書と安全規則 – 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。
- ☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。
- ☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。
- ☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。
- ☑ 本機械を使用するにあたって初めて設置を行うとき、ブリーザーキャップが取り付けられている。「操作前の点検」のセクションを参照してください。

安全規則

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。オプションのファイバークラス製の作業台も絶縁されていません。



機械が電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が遮断されるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

| 電圧 範囲 | 安全 最短距離 メートル |
|-----------------|--------------------|
| 0 ~ 300V | 接触を避ける |
| 300V ~ 50KV | 3.05 |
| 50KV ~ 200KV | 4.60 |
| 200KV ~ 350KV | 6.10 |
| 350KV ~ 500KV | 7.62 |
| 500KV ~ 750KV | 10.67 |
| 750KV ~ 1,000KV | 13.72 |

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮に入れ、強風および突風に注意してください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

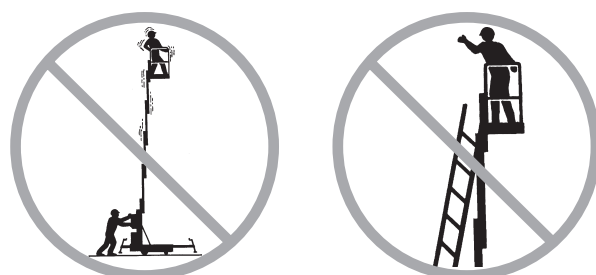
AC 電源を使用する機械や DC バッテリー充電器を使用する場合は、接地した AC 回路に接続したアース付 3 ピン延長コードを必ず使用してください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

転倒の危険

土台が水平であり、4つのアウトリガーすべてが適切に取り付けられ、ジャッキがしっかりと床に固定されていない場合は、作業台を上げないでください。

作業台を使用しているとき、あるいは作業台が上がっているときは、アウトリガーを調節したり、外したりしないでください。

作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。



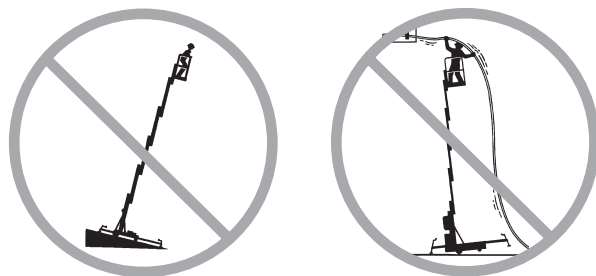
はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

機械から張り出した状態で荷物を配置したり取り付けたりしないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

安全規則

機械が水平な状態にある場合以外は作業台を上げないでください。ジャッキのみを使って機械を水平な状態にできない地面では、機械を設置しないでください。



機械に水平圧力あるいは側面荷重を与える原因となるので、固定されている積荷やぶら下がっている状態の積荷を上下させないでください。

作業台の外側へ物体を押ししたり、外側から物体を引っ張ったりしないでください。

最大
側方圧力
ANSI/CSA
222 N

最大
外圧
CE/AUS
200 N



急に低くなっているところ、くぼみ、でこぼこした道、障害物がある場所、不安定な地面、滑りやすい表面、あるいは他の危険な状態の近辺では機械を操作しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能な状態にしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。Genie承認の交換部品を使用してください。

機械の作業台側から Genie AWP を押さないでください。

フォークリフトや他の輸送車両を使って機械を移動するときは、作業台を完全に下げ、機械の電源を切り、作業員が作業台を降りてから行ってください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

安全規則

ANSI/CSA モデル：風速が 12.5 m/秒を超える場合は作業台を上げないでください。12.5 m/秒以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

屋外用アウトリガー付きの CE/AUS スタンダードベースのモデル：風速が 12.5 m/秒を超える場合は作業台を上げないでください。12.5 m/秒以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

屋内用アウトリガー付きの CE/AUS スタンダードベースのモデル：屋内使用のみ。風速が 0 m/秒を超える場合は作業台を上げないでください。0 m/秒以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

CE/AUS 狭幅または RT ベースモデル：屋内使用のみ。風速が 0 m/秒を超える場合は作業台を上げないでください。0 m/秒以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風に当たる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

| 最大積載荷重量 | |
|---------|--------|
| AWP-20S | 159 kg |
| AWP-25S | 159 kg |
| AWP-30S | 159 kg |
| AWP-36S | 159 kg |
| AWP-40S | 136 kg |
| 最大作業員数 | |
| | 1 名 |

落下の危険



手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規則や従業員規則により落下防止装備 (PFPE) を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使い方は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

安全規則

作業台が上昇しているときに作業台から降りないでください。電源障害が起きた場合は、地上の作業員により手動下降バルブを作動してください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。



衝突の危険

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。

作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。

傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

下降している作業台には近づかないでください。

誤った使用による危険

関係者以外による使用を避けるため、機械から離れる際はキーを取り外してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

本説明書と Genie AWP Super Series サービスマニュアルに記載されているすべての保守を必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

作業シフトを始める前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

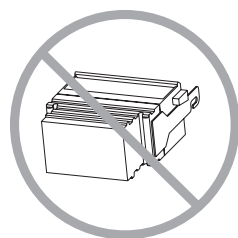
溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

安全規則

バッテリーと充電器の安全 - DC モデル

やけどの危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリー液をこぼしたり液に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

バッテリーパックは常に直立した状態に保持してください。

爆発の危険



バッテリーは爆発性ガスを放出します。火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。

よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

充電器がオンのときは、バッテリーから充電器 DC 出力配線を取り外さないでください。

感電の危険



充電器は、接地されている AC 回路にのみ接続してください。

バッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

操作を始める前に破損している箇所がないか点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

持ち上げ時の危険

バッテリーパックの重量は 90 lbs/40.8 kg です。バッテリーパックを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報シンボル—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。



赤—差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。



オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至る可能性があります。



安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。



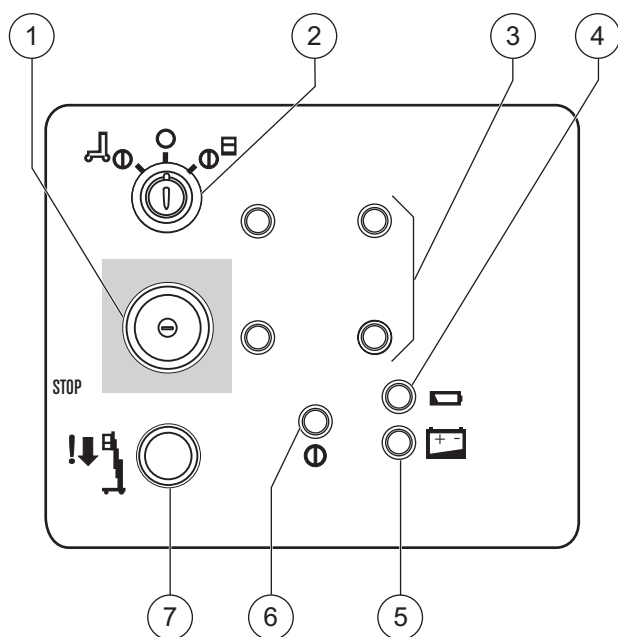
安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。



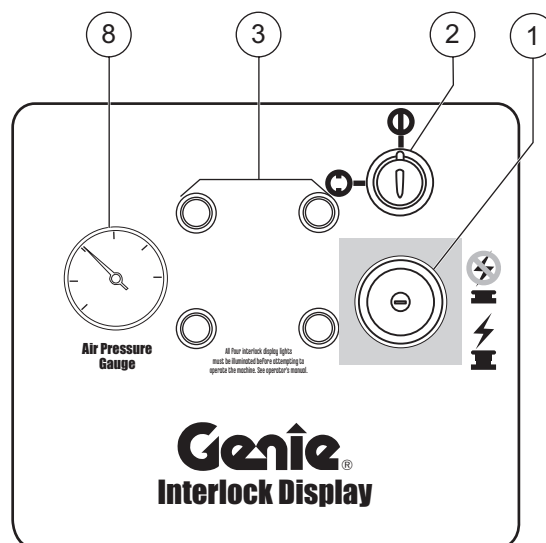
緑—操作方法または保守に関する情報を示します。

操作パネル

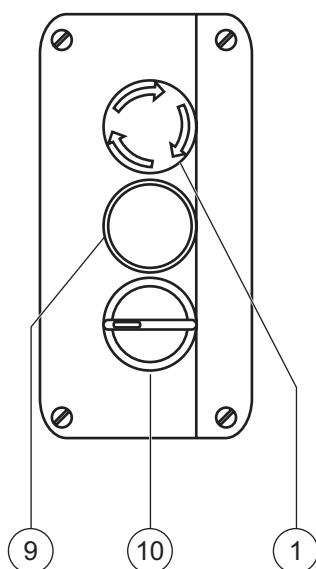
地上操作 -
AC および DC モデル



地上操作 -
エア式モデル

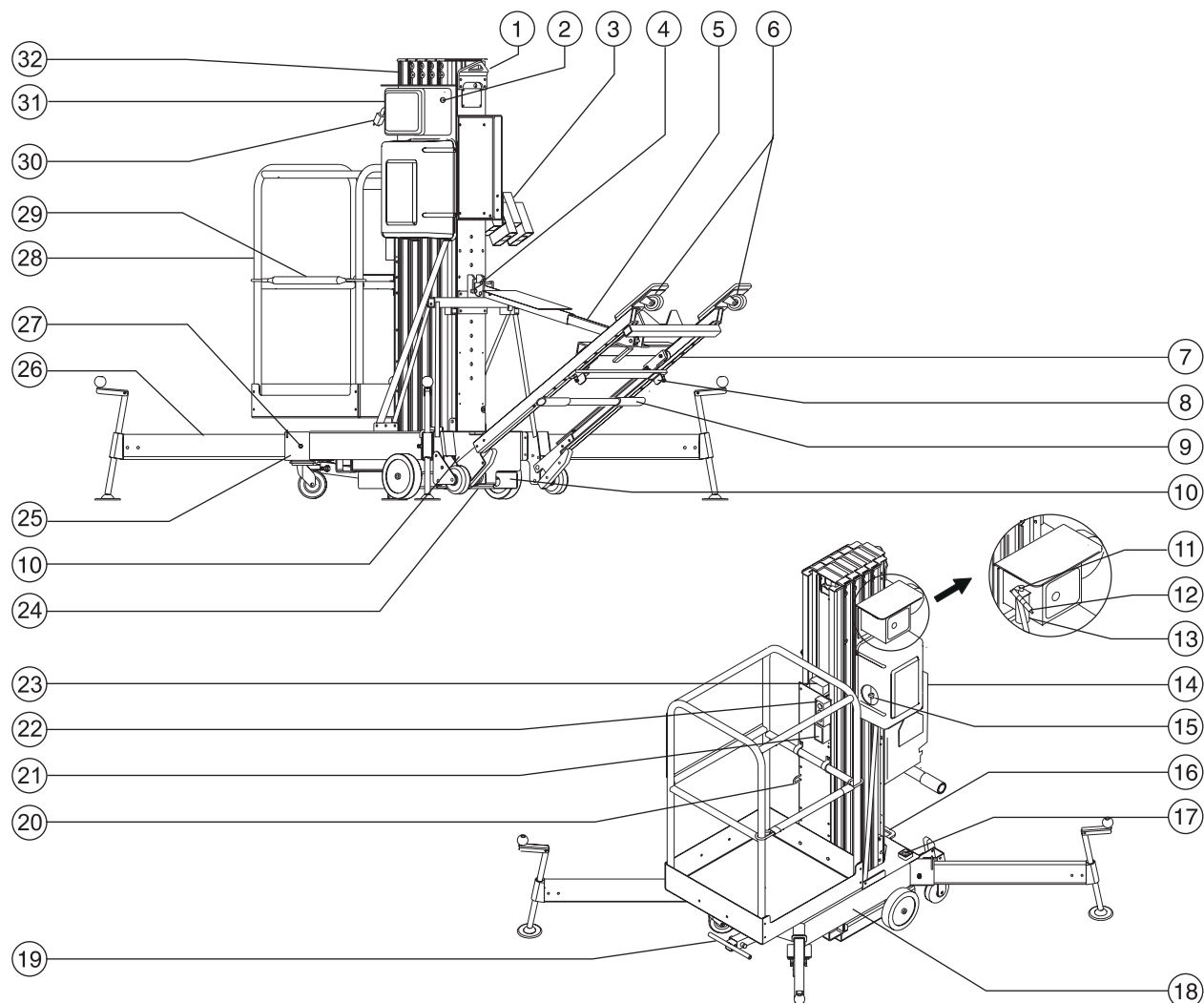


作業台操作



- 1 赤色非常停止ボタン
- 2 キースイッチ
- 3 アウトリガーインターロック表示ランプ (4)
- 4 補助下降用低バッテリー表示ランプ
- 5 DC モデル：低バッテリー表示ランプ
- 6 電源ランプ
- 7 作業台補助下降ボタン
- 8 空気圧計
- 9 制御作動ボタン
- 10 上昇/下降スイッチ

説明



- | | | |
|----------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 1 リフト用具 | 9 ローディングピボットバー | 25 ベースアウトリガー収納口 |
| 2 AC モデル：回路ブレーカー | 10 フォークリフトポケット | 26 ジャッキ付きアウトリガー |
| 3 アウトリガー収納口 | 11 空気管潤滑装置調節ノブ | 27 アウトリガーロックピン |
| 4 支柱収納口の後方傾斜フレーム固定ピン | 12 機械への空気の供給 | 28 作業台 |
| 5 後方傾斜支柱 | 13 空気管潤滑装置 | 29 作業台出入口中間レールまたはゲート |
| 6 旋回ロック | 14 DC モデル：充電器付きバッテリーパック | 30 AC モデル：機械の電源DC モデル：作業台への電力 |
| 7 後方傾斜フレーム | 15 油圧ユニット | 31 地上操作パネル |
| 8 ローディング止めブラケット | 16 ウィンチ/荷締箇所 | 32 マスト |
| | 17 水準器 | |
| | 18 ベース | |
| | 19 スライド式 T ハンドル | |
| | 20 安全帯固定場所 | |
| | 21 AC コンセント | |
| | 22 作業台操作パネル | |
| | 23 操作説明書保管場所 | |
| | 24 手動下降バルブ（機械の下） | |

操作前の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

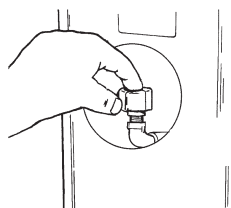
- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 **必ず操作前の点検を行う。**
- 次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

ブリーザーキャップ-ACおよびDCモデル

ブリーザーキャップを取り付けずに機械を操作するとコンポーネントが故障します。ブリーザーキャップが作動油容器の正しい位置に取り付けられていることを確認してください。

AWP-36およびAWP-40：

本機械を使用するにあたって初めて設置を行うとき、作動油容器のパイププラグを取り除き、代わりにブリーザーキャップを取り付けます。



ブリーザーキャップはエンベロープ内にあり、作業台操作の近くのマストにテープで貼られています。

原則

操作前の点検と規定保守はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが行う目視点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定保守作業が必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定保守項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理の終了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適切かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ AC および DC モデル：作動油の漏れがなく、量が適切であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ RT ベースモデル：タイヤの空気圧が適切であることを確認します。必要に応じてタイヤに空気を足してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エア式モデル：空気管潤滑装置のオイル量を確認します。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エア式モデル：オイル潤滑装置キャニスターのオイルドリッププレートを確認します。必要に応じて調節してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エア式モデル：空気フィルター/レギュレータキャニスターを点検します。必要に応じて排水してください。「保守」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、適切に設置されていなかったり、なくなっている部品または不正に改造されていないかを確認してください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ AC および DC モデル：油圧ユニット、ホース、フィッティングおよびシリンダー
- ❑ エア式モデル：空気電力ユニット、空気管、フィッティングおよびシリンダー
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート

- ❑ シークエンスケーブルおよび滑車
- ❑ リフトチェーンおよびアイドラーホイール
- ❑ ナット、ボルトおよび他の締め具
- ❑ マスト柱とカウンターウェイト
- ❑ ブリーザーキャップ
- ❑ アウトリガー、ジャッキおよびフットパッド
- ❑ 調節可能な摩耗板
- ❑ 安全带固定場所
- ❑ キャスターおよびブレーキ（搭載する場合）

機械全体に対して下記を確認します。

- ❑ へこみや損傷
- ❑ 機械の腐食やさび
- ❑ 溶接または機械部品の割れ
- ❑ バッテリー端子とバッテリーの配線すべてを点検し、清掃します。
- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。

保守



必ず以下に従うこと。

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定保守項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。
- ☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

保守記号の説明

注意

以下の記号は、指示の目的を分かりやすくするために使用されています。保守手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うためには、工具が必要です。



この手順を行うためには、新しい部品が必要です。

バッテリーの確認 - DC モデル



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために非常に重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続部分の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招く可能性があります。

警告

感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至る可能性があります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

警告

人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリー液をこぼしたり液に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意

このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

- 1 保護服と保護メガネを着用してください。
- 2 バッテリー通気孔のキャップを外します。
- 3 バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

保守

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日確認することにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

- 1 作業台が完全に下がっていることを確認します。
 - 2 作動油タンク側面の表示計を確認します。
- ◎ 結果：作動油量が、表示計の中央を示している必要があります。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様

| | |
|--------|---------------------|
| 作動油タイプ | Chevron Rando HD 相当 |
|--------|---------------------|

タイヤ空気圧の確認 - RT ベースモデル



タイヤの空気圧を適切に保つことは非常に重要です。タイヤの空気量が適切でないと、機械の操縦に影響を与えます。

- 1 各タイヤを空気圧計で確認します。必要に応じて空気を入れてください。適切な空気圧がタイヤに記載されています。

空気管潤滑装置オイル量の確認 - エア式モデル



潤滑装置キャニスターのオイル量を適切なレベルにしておくことは、機械の安全操作と性能を維持するために重要です。潤滑装置キャニスターのオイル量が適切でないと、危険な操作状態を招いたり、部品が故障することがあります。

- 1 作業台が完全に下がっていることを確認します。
 - 2 潤滑装置キャニスターのオイル量が適切であることを点検します。
- ◎ 結果：オイル量は、潤滑装置キャニスターの上から 12.7 mm 以内でなければなりません。
- 3 オイルを足すには、潤滑装置ベースからオイル潤滑装置キャニスターを取り外して行います。オイルを足したら、潤滑装置ベースにキャニスターを取り付け直します。

オイルの仕様

| | |
|--------|-----------------|
| オイルタイプ | 10W 自動車用エンジンオイル |
|--------|-----------------|

保守

オイル潤滑装置キャニスターのドリップレートの確認 - エア式モデル



潤滑装置キャニスターのオイルドリップレートを適切にしておくことは、機械の安全操作と機械の性能を維持するために非常に重要です。ドリップレートが適切でないと、部品が故障することがあります。

- 1 作業台を上昇している際、オイル潤滑装置の表示計を目視点検します。
- ① 結果：表示計には、最高で 1~2 滴のオイルが見えなければなりません。
- 2 ドリップレートを変更する場合、流出量を減らすにはオイルフローコントロール弁を時計回りに、流出量を増やすには反時計回りに回します。
- 3 適切なドリップレートになるまでこの手順を繰返します。

空気フィルター/レギュレータキャニスターの点検 - エア式モデル



エアモーターを高性能に保ち、耐用年数を維持するために、空気フィルター/レギュレータキャニスターの排水はきわめて重要です。キャニスターに水が溜まっている場合、エアモーターが十分な性能を発揮できません。また、続けて使用した場合は部品が故障することがあります。

- 1 空気フィルター/レギュレータキャニスターに水が溜まっていないことを確認します。
- 2 水が溜まっている場合は、キャニスターの底の排水プラグを緩めて排水します。
- 3 排水プラグをしっかりと締め直します。

定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置の保守トレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

- ☑ オペレータは本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 必ず操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。
- 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理の終了後、機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

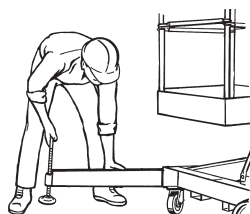
機能テスト

機能テスト

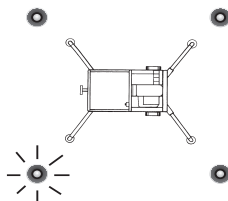
設置

- 1 作業場の真下のしっかりとした地面に機械を置きます。
- 2 適切な電源に接続します。DC モデル：バッテリーパックを接続します。AC モデル：接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。13m 以下の 3.3 mm² アース付 3 ピン延長コードを使用してください。空気配管を接続します。
- 3 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。
- 4 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- 5 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。
- ◎ 結果：AC および DC モデル：電源ランプが点灯します。
エア式モデル空気圧力計が 5.5~7.8 bar を示します。

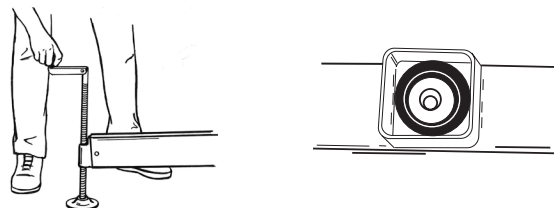
- 6 アウトリガーを選び、アウトリガーのロックピンが正しい位置にスナップするまで収納口にスライドさせます。機械が水平で、ベースキャスターが地上から少し離れるよう、アウトリガーを調節します。アウトリガー以外を使用して機械を水平にしないでください。



- 7 地上操作でインターロック表示ランプを確認します。対応するランプが点灯していることを確認します。



- 8 その他のアウトリガーに対してこの手順を繰り返します。
- 9 水準器を使って、機械のベースが水平になるようジャッキを調節します。



非常停止のテスト

- 10 地上操作で赤色非常停止ボタンを押してオフにします。
- 11 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。
- ◎ 結果：上昇/下降機能は 作動しません。

機能テスト

12 作業台操作で赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

13 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

14 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

◎ 結果：上昇/下降機能は作動しません。

アウトリガーインターロックのテスト

15 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。

◎ 結果：上昇/下降機能が作動します。

16 対応するインターロック表示ランプが消えるまで、1つのジャッキを緩めます。

◎ 結果：上昇機能は作動しません。

17 ジャッキを元に戻し、水準器を確認します。

18 各アウトリガーに対してこの手順を繰り返します。

作業台補助下降機能のテスト-ACおよびDCモデル

19 作業台を少し上昇させます。

20 電源を機械から外します。

21 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

22 地上操作で作業台補助下降機能ボタンを押します。

◎ 結果：作業台が下降します。

23 電源を機械に接続します。

24 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

25 作業台を少し上昇させます。

26 電源を機械から外します。

27 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを下方向に回します。

◎ 結果：作業台が下降します。

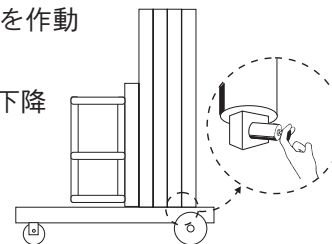
28 電源を機械に接続します。

手動下降のテスト

29 作業台を少し上昇させます。

30 油圧シリンダーの底にある手動下降弁を作動させます。

◎ 結果：作業台が下降します。



作業場の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 必ず操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に必ず機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください。

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ・ 機械を水平に調整できる範囲を超える坂
- ・ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない地面
- ・ 風や天候の状態
- ・ 関係作業員以外の人物の存在
- ・ その他、起こりうる危険な状態

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、設置、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 必ず操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に必ず機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

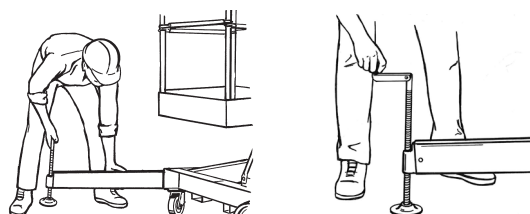
操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

設置

- 1 作業場の真下のしっかりとした地面に機械を置きます。
- 2 適切な電源に接続します。DCモデル：バッテリーパックを接続します。ACモデル：接地されている15AのAC電源装置に接続します。13m以下の3.3mm²アース付3ピン延長コードを使用してください。空気配管を接続します。
- 3 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。
- 4 地上操作で赤色非常停止ボタンを引き出し、作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。電源ランプが点灯しているか、空気圧計が5.5～7.8 barを示していることを確認します。
- 5 アウトリガーを取り付け、機械が水平になりベアスキャスターが地上から少し離れるよう調節します。



- 6 地上操作で4つのインターロック表示ランプがすべて点灯し、4つのアウトリガーすべてが地面にしっかりと接触していることを確認します。
- 7 水準器を使って機械が水平であることを確認します。



注記：調節が必要な場合は、水準器とインターロック表示を確認して、機械が水平で4つのインターロック表示ランプがすべて点灯していることを確認してください。

操作手順

非常停止

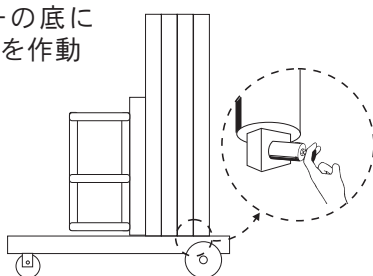
作業台操作あるいは地上操作で赤色非常停止ボタンを押し、上昇機能を停止します。

作業台の上昇と下降

- 1 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。
- 2 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

手動下降

- 1 油圧シリンダーの底にある手動下降弁を作動させます。

**作業台補助下降 – AC および DC モデル**

- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- 2 地上操作で作業台補助下降ボタンを作動します。

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検および使用されなければなりません。

使用後の注意

- 1 固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。
- 2 キャスターブレーキ（搭載されている場合）を使用するか、輪止めをかまして、機械が動かないようにします。
- 3 関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。
- 4 DC モデル：バッテリーを充電します。

バッテリー充電の手順



バッテリーおよび充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

- 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- Genie 承認のバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーの充電

- 1 バッテリーにアクセスするためバッテリーパックの蓋を開けます。
- 2 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー液の量を確認します。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。
- 4 DC 出力コードがバッテリーに正しく接続されていること確認します。黒をマイナス、赤をプラスに接続します。
- 5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 6 バッテリーが完全に充電されると、充電池のスイッチが自動的に切れます。
- 7 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリー液の注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。
- 2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、満タンまで入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

- 3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送手順



輸送手順

必ず以下に従うこと。

- ☑ 輸送車両の最大積載荷重量と積載面が機械の重量を支えるために十分なものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。小型トラックのテールゲート（荷台の後尾ドア）が機械の重量をささえるために十分でない場合は、補強が必要です。
- ☑ 輸送車両を水平な地面に駐車している場合以外は、機械を載せないでください。
- ☑ 機械を載せる際は、輸送車両が動かないように固定してください。
- ☑ 機械は、輸送車両にしっかりと固定されていなければなりません。チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。
- ☑ 両方の旋回車は、必ず後方傾斜フレームにロックしてください。
- ☑ 機械が後方傾斜フレームに寄りかかった状態で、輸送しないでください。

吊り上げの手順

機械の積み降ろしには複数の人員が必要になります。その人数は、次の条件により異なりますが、これらの要因に限定されるものではありません。

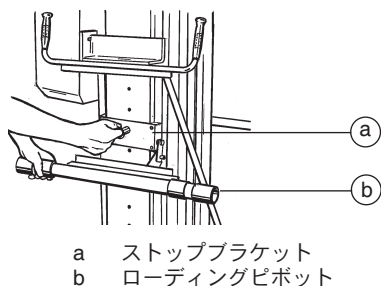
- ・ 作業員の健康状態、体力、身体の障害、過去に負ったケガの状態
- ・ 機械を動かす距離（垂直と水平方向）
- ・ 機械を積み降ろしする回数
- ・ 作業員の位置、姿勢、および機械をつかんでいる場所
- ・ 持ち上げる手段
- ・ 現場の状態と天候（滑りやすい、凍っている、雨が降っているなど）

ケガを防ぐために、適切な人数と正しい手段で作業を行ってください。

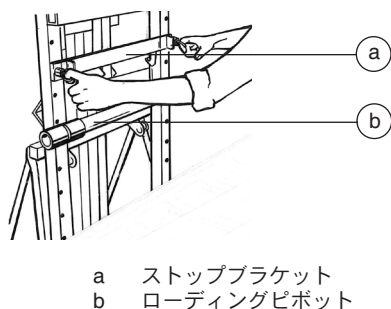
輸送手順

輸送のための積載

- 1 作業台を完全に下げます。
- 2 赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。
- 3 ベースからアウトリガーを取り外し、収納口に収めます。
- 4 DCモデル：バッテリーケーブルを外して、バッテリーパックを取り外します。
- 5 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。
- 6 ストップブラケットをトップロック位置にスライドさせます。



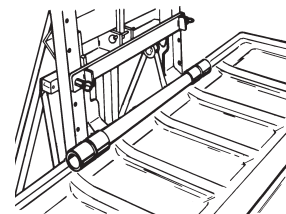
後方傾斜フレームを搭載しないすべてのモデル



後方傾斜フレームを搭載するすべてのモデル

- 7 ローディングピボットをストップブラケットに掛けます。

- 8 機械を積載する面にぴったりとつけます。積載面より上にある、一番下のロックピンの位置までストップブラケットを下げてロックします。



- 9 後方傾斜フレームを搭載するすべてのモデル：

両方のストップブラケットロックピンがしっかりとロックされていることを確認してください。

両方の後方傾斜フレーム旋回車がロックされていることを確認してください。

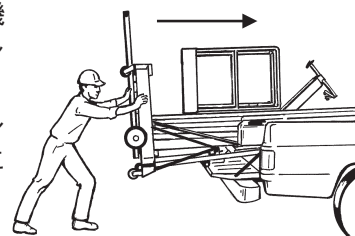
- 10 ロックピンが正しい位置にスナップするまでTハンドルを引き出します。

- 11 Tハンドルを持ち上げて、機械を積載面上に傾けます。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。



- 12 輸送位置まで機械を慎重に押し込みます。

- 13 スライド式Tハンドルを収納位置に戻します。



- 14 機械の本体とマストを輸送車両にしっかりと固定します。次のページの「機械の固定」を参照してください。

- 15 機械を降ろすときは、この逆の手順を行ってください。

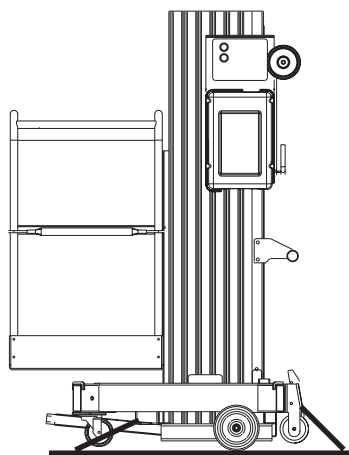
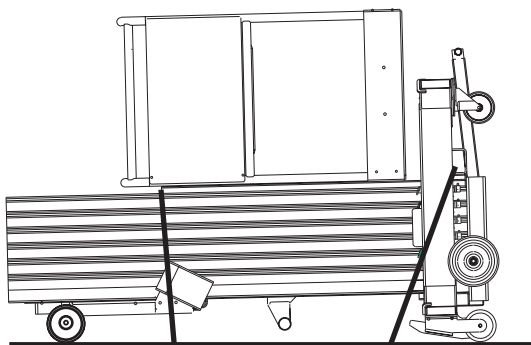
輸送手順

機械の固定

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えるものを使用してください。

チェーンを最低2本使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。



平台トラック上への機械のウィンチ

- 1 作業台を完全に下げます。
- 2 赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。
- 3 ベースからアウトリガーを取り外し、収納口に収めます。
- 4 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。
- 5 ベースの後方にあるウィンチ個所にケーブルを取り付けます。
- 6 慎重に機械をトラック上にウィンチします。
- 7 機械の本体を輸送車両にしっかりと固定します。「機械の固定」を参照してください。

クレーンによる機械の積載

マスト柱の後ろに取り付けられたリフト用金具を使用します。

機械をクレーンで持ち上げる前に、バッテリーパックを取り外してください。バッテリーパックを取り外す前に、バッテリープラグを外してください。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

リフト用フックは、必ず機械と逆に向くようにリフト用金具に通してください。



後方傾斜の操作手順



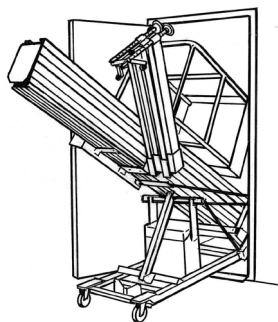
後方傾斜の操作手順

必ず従うこと：

- ☑ スプリング式の後方傾斜フレームが倒れないよう、必ず固定ピンを挿入してください。
- ☑ 周りに人がいたり障害物がある場合は、機械を後方に傾けないでください。
- ☑ 後方傾斜フレームを上げ下げしているときは、後方傾斜フレームの後ろや下に立たないでください。

後方傾斜フレーム

Genie AWP Super Series は、機械が標準の戸口を通過して移動することを可能にする後方傾斜フレームを搭載しています。後方傾斜フレームは、標準ベースの AWP-36S および 40S モデルに標準装備されており、標準ベースの AWP-15S、20S、25S および 30S モデルではオプションとして提供されています。狭幅ベースや不整地用ベースの機械には、後方傾斜フレームは使用できません。



吊り上げの手順

機械の積み降ろしには複数の人員が必要になります。その人数は次の条件により異なりますが、これらの要因に限定されるものではありません。

- ・ 作業員の健康状態、体力、身体の障害、過去に負ったケガの状態
- ・ 機械を動かす距離（垂直と水平方向）
- ・ 機械を積み降ろしする回数
- ・ 作業員の位置、姿勢、および機械をつかんでいる場所
- ・ 持ち上げる手段
- ・ 現場の状態と天候（滑りやすい、凍っている、雨が降っているなど）

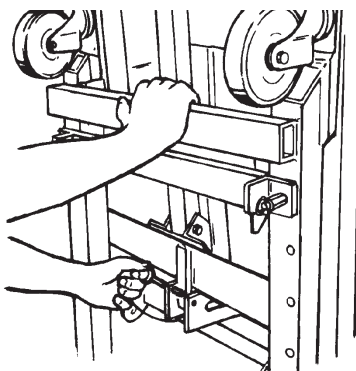
ケガを防ぐために、適切な人数と正しい手段で作業を行ってください。

後方傾斜の操作手順

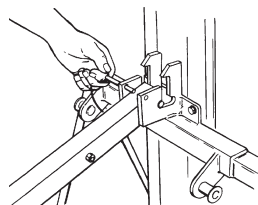
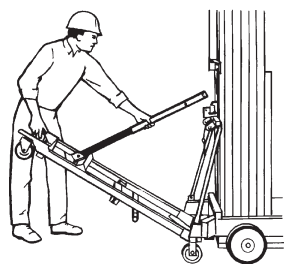
後方傾斜アッセンプリの下降

- 1 機械の後ろや後方傾斜フレームの下に、人がいないこと、および障害物がないことを確認します。
- 2 作業台を完全に下げます。
- 3 ベースからアウトリガーを取り外し、収納口に収めます。

後方傾斜フレームはスプリング式であるため、固定ピンが外されるとすぐに外側へ倒れます。後方傾斜フレームをしっかりと握ったまま、固定ピンを外します。

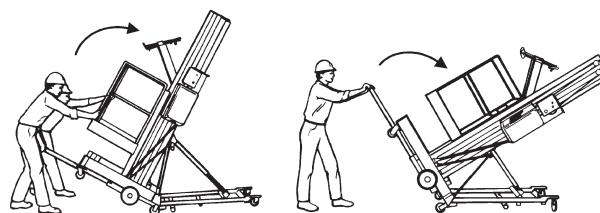
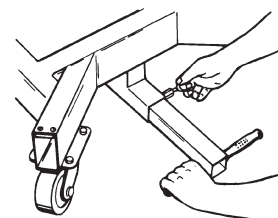


- 4 後方傾斜フレームを下げ、後方傾斜支柱を支柱収納口に導きます。
- 5 固定ピンを支柱収納口に挿入します。



機械の後方傾斜

- 1 ロックピンが正しい位置にスナップするまでTハンドルを引き出します。
- 2 機械をTハンドルで持ち上げる際の傾斜中間位置とは、後方傾斜フレームのキャスターが地面に接触し、機械が後方傾斜フレームの伸長した支柱によりサポートされる位置を意味します。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。

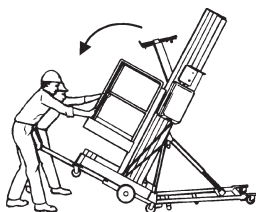


- 3 伸縮式の後方傾斜支柱が完全に圧縮されるまで、持ち上げます。
- 4 スライド式Tハンドルを収納位置に戻します。

後方傾斜の操作手順

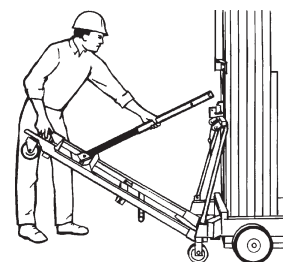
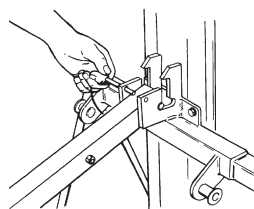
機械を直立位置に戻す

- 1 機械本体およびTハンドルの下に人がいないこと、および障害物がないことを確認します。
- 2 ロックピンが正しい位置にスナップするまでTハンドルを引き出します。
- 3 機械が傾斜中間位置で静止するまで慎重にTハンドルを引き下げます。
- 4 ベースキャスターが地面に接触するまで、Tハンドルで機械を下げます。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。
- 5 スライド式Tハンドルを収納位置に戻します。

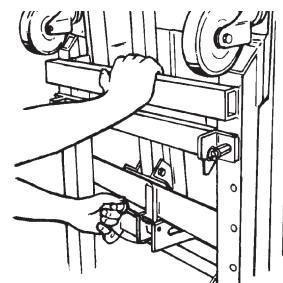


後方傾斜アッセンプリの格納

- 1 固定ピンを外します。



- 2 後方傾斜フレームをしっかりと握り、後方傾斜支柱を支柱収納口から外します。



- 3 後方傾斜フレームをスプリングに寄りかかるように直立の位置まで持ち上げ、固定ピンで固定します。

ステッカー

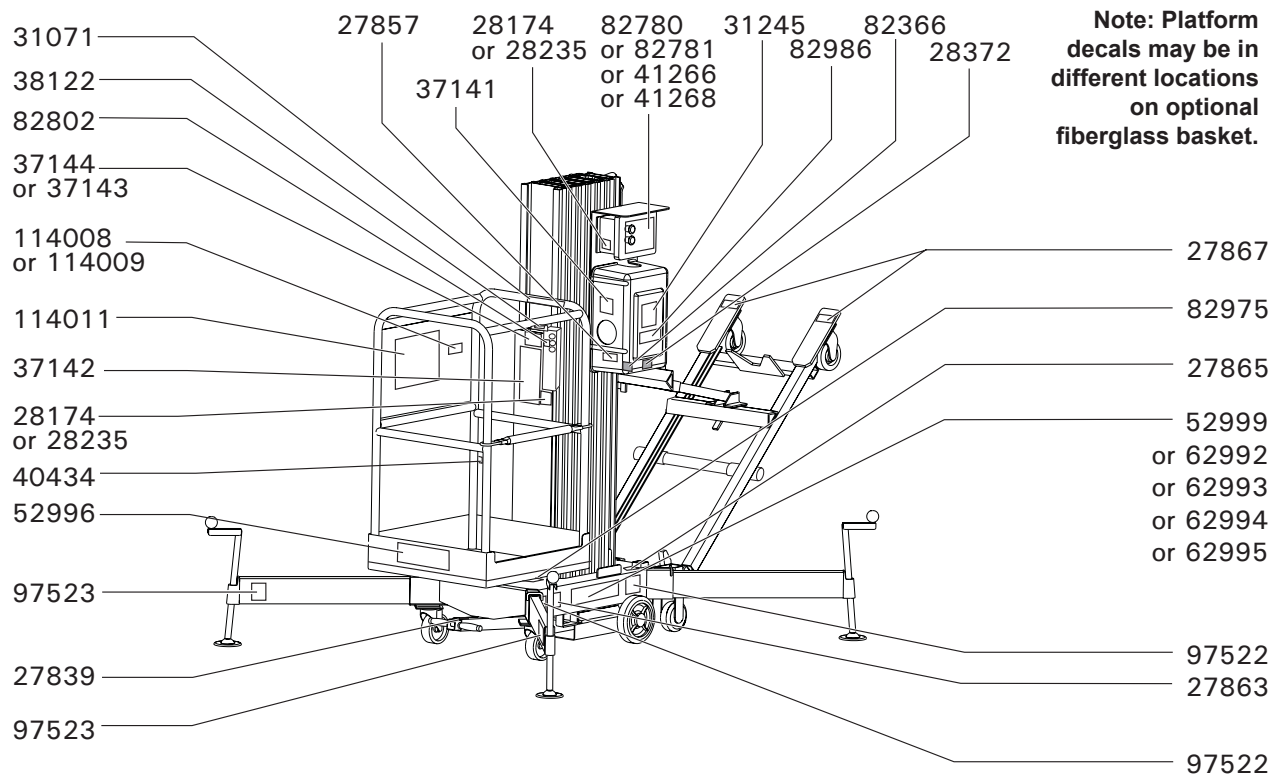
警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

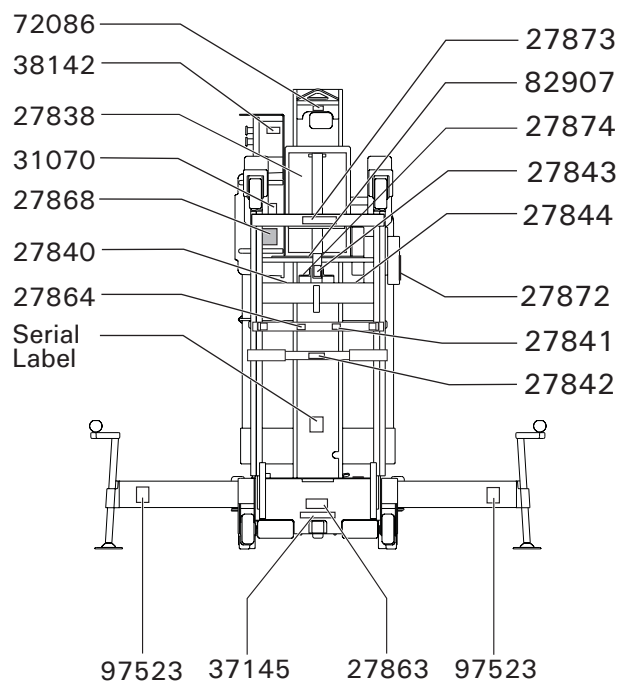
| Part No. | Description | Quantity |
|----------|--|----------|
| 27838 | Warning - Tilt-back Hazards/Instructions | 1 |
| 27839 | Label - Sliding T-handle | 1 |
| 27840 | Label - Retaining Pin | 1 |
| 27841 | Label - Stop Bracket | 1 |
| 27842 | Label - Loading Pivot | 1 |
| 27843 | Label - Tilt-back Strut | 1 |
| 27844 | Label - Strut Socket | 1 |
| 27857 | Caution - Pipe Plug | 1 |
| 27863 | Warning - Collision Hazard | 3 |
| 27864 | Notice - Lower Stop Bracket Before . . . | 1 |
| 27865 | Label - Bubble Level | 1 |
| 27867 | Label - Swivel Lock | 1 |
| 27868 | Danger - Relief Valve | 1 |
| 27872 | Danger - Tip-over Hazard, Outriggers | 1 |
| 27873 | Notice - Maintain Firm Grasp | 1 |
| 27874 | Label - Insert Retaining Pin | 1 |
| 28174 | Label - Power to Platform, 230V | 2 |
| 28235 | Label - Power to Platform, 115V | 2 |
| 28372 | Caution - Quick Disconnect | 1 |
| 31070 | Danger - Tip-over Hazard, Moving | 1 |
| 31071 | Warning - Failure to Read | 1 |
| 31245 | Warning - Collision Hazard | 1 |
| 37141 | Notice - Manual Lowering Instructions | 1 |
| 37142 | Notice - Operating Instructions | 1 |
| 37143 | Notice - Max Capacity 300 lbs / 136 kg AWP-40S | 1 |
| 37144 | Notice - Max Capacity 350 lbs / 159 kg AWP-20S, 25S, 30S, 36S | 1 |

| Part No. | Description | Quantity |
|----------|--|----------|
| 37145 | Label - Manual Lowering Valve | 1 |
| 38122 | Label - Manual Storage Container | 1 |
| 38142 | Label - Circuit Breaker, AC models | 1 |
| 40434 | Label - Lanyard Anchorage Point | 1 |
| 41266 | Label - Interlock Display, Air Models, Standard Base | 1 |
| 41268 | Label - Interlock Display, Air Models, Narrow Base and Rough Terrain Base | 1 |
| 52996 | Cosmetic - Genie Logo | 1 |
| 52999 | Cosmetic - AWP-20S | 2 |
| 62992 | Cosmetic - AWP-25S | 2 |
| 62993 | Cosmetic - AWP-30S | 2 |
| 62994 | Cosmetic - AWP-36S | 2 |
| 62995 | Cosmetic - AWP-40S | 2 |
| 72086 | Label - Lifting Eye | 1 |
| 82366 | Label - Chevron Rando | 1 |
| 82780 | Label - Interlock Display | 1 |
| 82781 | Label - Interlock Display | 1 |
| 82802 | Label - Function Enable | 1 |
| 82907 | Danger - Battery Charger Safety | 1 |
| 82975 | Danger - Collision Hazard | 1 |
| 82986 | Danger - Electrocution Hazard | 1 |
| 97522 | Label - Wheel Load | 4 |
| 97523 | Label - Outrigger Load | 4 |
| 114008 | Notice - Max Side Force 50 lbs / 222 N, ANSI/CSA | 1 |
| 114009 | Notice - Max Manual Force 45 lbs / 200 N, AUS | 1 |
| 114011 | Danger - General Safety | 1 |

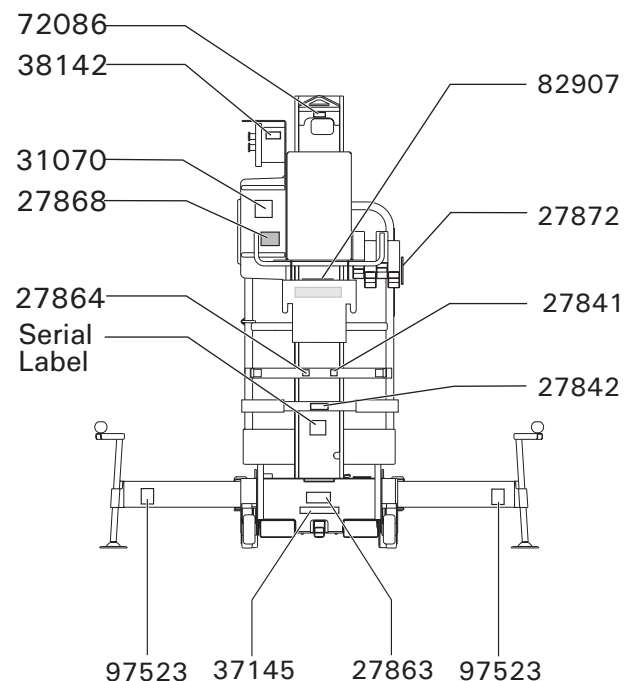
ステッカー



Models with Tilt-back Frame



Models without Tilt-back Frame



ステッカー

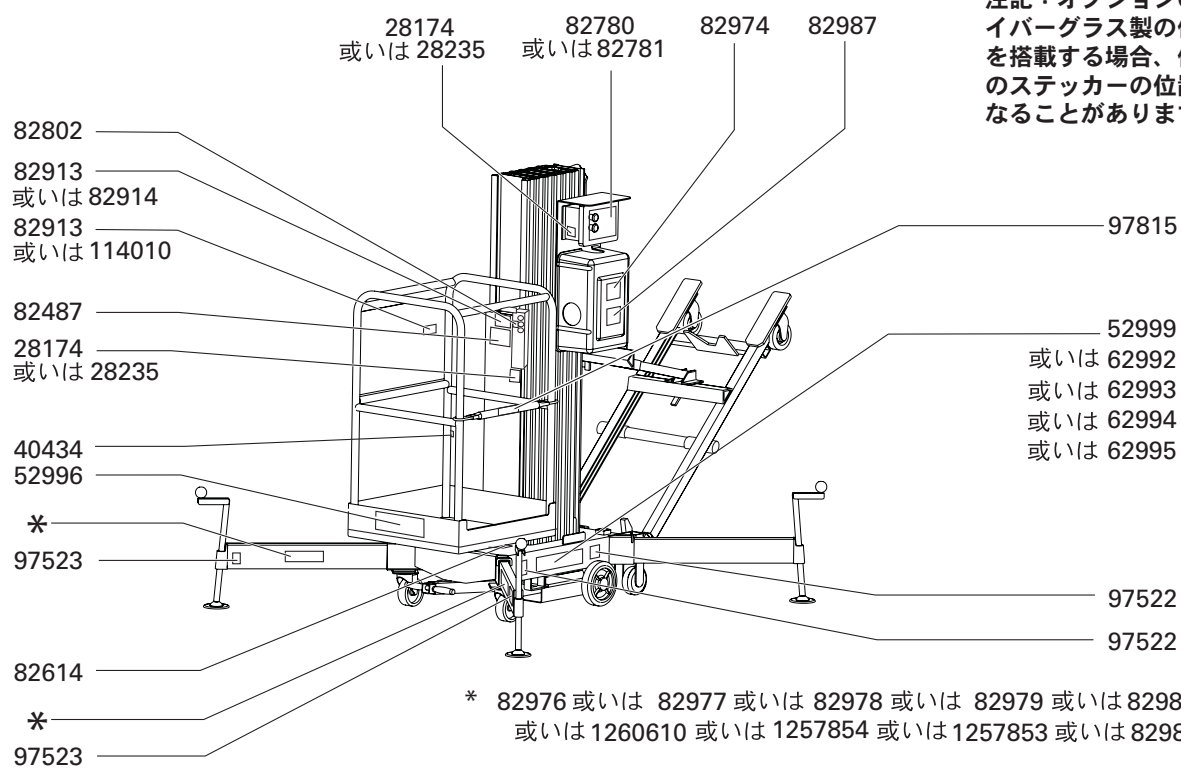
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

| 品番 | 説明 | 数量 |
|-------|--|----|
| 28174 | ラベル - 作業台への電力、230V | 2 |
| 28235 | ラベル - 作業台への電力、115V | 2 |
| 40434 | ラベル - 安全帯固定箇所 | 1 |
| 52996 | 外装 - Genie ロゴ | 1 |
| 52999 | 外装 - AWP-20S | 2 |
| 62992 | 外装 - AWP-25S | 2 |
| 62993 | 外装 - AWP-30S | 2 |
| 62994 | 外装 - AWP-36S | 2 |
| 62995 | 外装 - AWP-40S | 2 |
| 82481 | 危険 - バッテリー充電器の安全 | 1 |
| 82487 | ラベル - マニュアルを読む | 1 |
| 82614 | 要注意 - 衝突の危険 | 1 |
| 82780 | ラベル - インターロック表示 | 1 |
| 82781 | ラベル - インターロック表示 | 1 |
| 82802 | ラベル - 機能作動 | 1 |
| 82913 | 危険 - 最大積載荷重量、159 kg AWP-20S、25S、30S、36S | 1 |
| 82914 | 危険 - 最大積載荷重量、136 kg AWP-40S | 1 |
| 82915 | ラベル - 手動下降弁 | 1 |
| 82916 | 危険 - 最大外圧 200 N、CE | 1 |

| 品番 | 説明 | 数量 |
|---------|-----------------------------|----|
| 82973 | 警告 - ピンを挿入する | 1 |
| 82974 | 警告 - 衝突の危険 | 1 |
| 82976 | 危険 - 風速、51 cm アウトリガー | 4 |
| 82977 | 危険 - 風速、66 cm アウトリガー | 4 |
| 82978 | 危険 - 風速、77 cm アウトリガー | 4 |
| 82979 | 危険 - 風速、91 cm アウトリガー | 4 |
| 82980 | 危険 - 風速、1.02 m アウトリガー | 4 |
| 82984 | 危険 - 風速、2.16 m アウトリガー | 4 |
| 82987 | 危険 - 感電の危険 | 1 |
| 82988 | ラベル - マニュアルを読む、 後方傾斜フレーム | 1 |
| 97522 | ラベル - 輪荷重 | 4 |
| 97523 | ラベル - アウトリガー負荷 | 4 |
| 97815 | ラベル - 中間レールを下げる | 1 |
| 114010 | 危険 - 最大側方圧力 222 N、ANSI | 1 |
| 1257853 | 危険 - 風速、1.91 m アウトリガー | 4 |
| 1257854 | 危険 - 風速、1.52 m アウトリガー | 4 |
| 1260610 | 危険 - 風速、1.17 m アウトリガー | 4 |

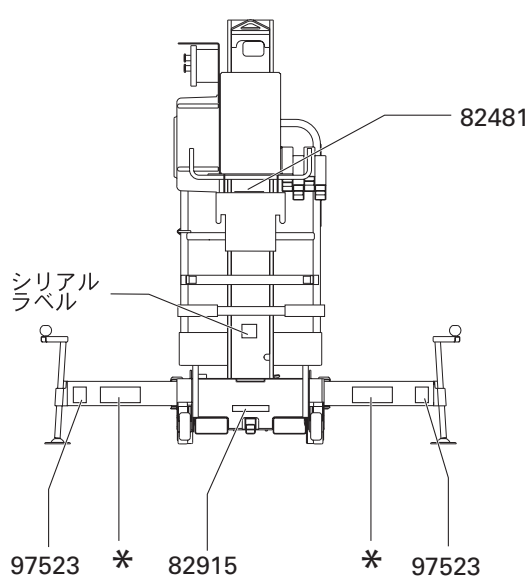
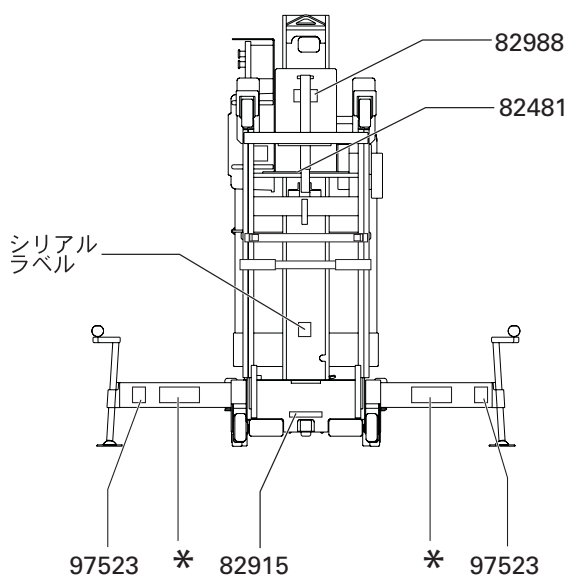
ステッカー



注記：オプションのファイバーグラス製の作業台を搭載する場合、作業台のステッカーの位置が異なることがあります。

後方傾斜フレームを搭載するモデル

後方傾斜フレームを搭載しないモデル



仕様

機械仕様

| | |
|----------|--------|
| 高さ、操作時最大 | |
| AWP-20S | 8.0 m |
| AWP-25S | 9.4 m |
| AWP-30S | 10.8 m |
| AWP-36S | 12.9 m |
| AWP-40S | 4.1 m |

| | |
|----------|--------|
| 高さ、操作時最大 | |
| AWP-20S | 6.1 m |
| AWP-25S | 7.6 m |
| AWP-30S | 9.0 m |
| AWP-36S | 11.1 m |
| AWP-40S | 12.3 m |

| | |
|-----------------|-------|
| 高さ、収納時 | |
| AWP-20S、25S、30S | 2.0 m |
| AWP-36S、40S | 2.8 m |

| | |
|---------|---------|
| 幅 | |
| 標準ベース | 73.6 cm |
| 狭幅ベース | 55.8 cm |
| 不整地用ベース | 75 cm |

| | |
|---------------------|-------|
| 奥行き、AWP-20S、25S、30S | |
| 標準ベース | 1.2 m |
| 狭幅ベース | 75 cm |
| 不整地用ベース | 1.5 m |

| | |
|-----------------|-------|
| 奥行き、AWP-36S、40S | |
| 標準ベース | 1.4 m |

重量 シリアルプレートをご覧ください。

最大輪荷重 231 kg

最大アウトリガー荷重 181 kg

| | |
|---------------------|--------|
| リフト積載荷重量 | |
| AWP-20S、25S、30S、36S | 159 kg |
| AWP-40S | 136 kg |

| | |
|--------|----------------------|
| 電源 | |
| DC モデル | 12V |
| AC モデル | 110V または 220V |
| エアモーター | 6.9 bar @ 37760 cc/秒 |

周囲操作温度 -29°C ~ 57°C

機械による騒音

地上作業場での音圧レベル < 70 dBA

作業台での音圧レベル < 70 dBA

ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒² を超過しません。

本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒² を超過しません。

作業台寸法（奥行き x 幅 x 高さ）

標準作業台
ゲートまたはスライド
式中間レール 69 cm x 66 cm x 1.1 m

ゲート付き超狭幅作業台 56 cm x 46 cm x 1.1 m

ゲート付き狭幅作業台 66 cm x 51 cm x 1.1 m

標準ファイバークラス
製作作業台 74 cm x 67 cm x 1.1 m

狭幅ファイバークラス
製作作業台 66 cm x 56 cm x 1.1 m

前方出入口ゲート付き
狭幅作業台 51 cm x 66 cm x 1.1 m

超大型前方側方出入口付き
作業台 76 cm x 71 cm x 1.1 m

Genieでは製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

| アウトリガー仕様 標準ベース | AWP-20S | AWP-25S | AWP-30S |
|-----------------------------------|-------------|--------------|--------------|
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) ANSI/CSA | 1.5 x 1.3 m | 1.5 x 1.3 m | 1.8 x 1.6 m |
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) CE/AUS 屋内 | 1.5 x 1.3 m | 1.8 x 1.6 m | 1.9 x 1.7 m |
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) CE/AUS 屋内 | 2.1 x 1.9 m | 2.3 x 2.1 m | 3.0 x 2.8 m |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* ANSI/CSA | 36.9/7.4 cm | 35.1/7.4 cm | 46.6/11.9 cm |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* CE/AUS 屋内 | 36.9/7.4 cm | 48.6/18.2 cm | 56.5/20.3 cm |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* CE/AUS 屋外 | 76/42.4 cm | 82.5/43.4 cm | 1.3 m/73 cm |

* ジャッキが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。

| アウトリガー仕様 標準ベース | AWP-36S | AWP-40S |
|-----------------------------------|---------------|--------------|
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) ANSI/CSA | 2.1 x 1.9 m | 2.3 x 2.0 m |
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) CE/AUS 屋内 | 2.1 x 1.9 m | 2.3 x 2.0 m |
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) CE/AUS 屋外 | 3.5 x 3.3 m | 3.9 x 3.7 m |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* ANSI/CSA | 72.7/36.2 cm | 79.4/37.1 cm |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* CE/AUS 屋内 | 72.7/36.2 cm | 79.4/37.1 cm |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* CE/AUS 屋外 | 1.3 m/79.3 cm | 1.3 m/73 cm |

* ジャッキが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。

仕様

| アウトリガー仕様 狭幅ベース/不整地用ベース | AWP-20S | AWP-25S | AWP-30S |
|--|--------------|--------------|--------------|
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) ANSI/CSA | 1.6 x 1.2 m | 1.6 x 1.2 m | 1.8 x 1.5 m |
| アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅) CE/AUS 屋内使用のみ | 1.8 x 1.5 m | 1.8 x 1.5 m | 1.9 x 1.6 m |
| CE/AUS 狭幅ベースまたは不整地用ベース機械は、長さのあるアウトリガーを装備している場合であっても屋内使用のみです。 | | | |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* ANSI/CSA | 36.2/21.6 cm | 33/15.2 cm | 47/18.4 cm |
| 角へのアクセス/壁へのアクセス* CE/AUS 屋内 | 53.3/31.1 cm | 49.5/24.7 cm | 55.8/22.8 cm |

* ジャッキが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイヤル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 556

代理店： . .